

春の受章 統計調査に尽力



藍綬褒章
元国勢調査員
鈴木 繁雄さん（中台）

国勢調査員として統計調査に長年にわたり貢献された鈴木繁雄さんが、このたび藍綬褒章を受章されました。鈴木さんは、昭和29年から県農業基本調査員として活動され、また国勢調査に連続11回従事するなど、51年間あわせて61回の各種統計事業に尽力されました。このたびの褒章を「栄誉あるこの受章を心から感謝し、お礼を申し上げます。」と謝意を表されました。

行政苦情解決に貢献 千葉行政評価事務所長感謝状を受賞

千葉市で5月15日、平成20年度行政相談委員全体会議が開催されました。行政に関する苦情の解決に尽力したことが評価され、同会議席上で行政相談委員の佐久間和夫さんが千葉行政評価事務所長感謝状を受賞しました。



千葉行政評価事務所長感謝状
佐久間和夫さん（木戸台）

5/8

ぴかぴか歯つぴー よい歯のコンクール

「高齢者及び親と子のよい歯のコンクール」が5月8日、健康づくりセンターで開催されました。歯科医師西村先生が高齢者の部5名と親と子の部5組の審査を行い、参加者すべてが優秀賞を受賞しました。町では「8020」運動

（80歳で20本以上自分の歯を保つ）をめざし各種事業を実施しています。高齢者第1位の清田さんは30本、最高齢で90歳の伊藤さんは23本、平鍋さん夫婦は20本、小川さんは26



▲受賞されたみなさん



▲コンクールの審査

本自分の歯があり、8020が実践されていきました。また親子の部第1位の坂本さんは母親のまり子さんが児童の時よい歯のコンクールに出場された経歴などがあり、参加されたみなさんはすばらしい歯の持ち主でした。

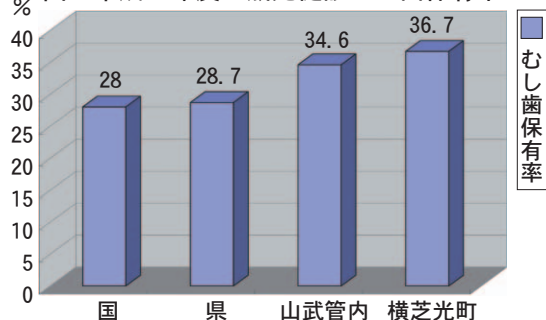
町の3歳児健診のむし歯保有率は図のとおり他と比べて高い状況です。

むし歯予防として「乳幼児のぴかぴか歯つぴー大作戦」が今年度から強化されますので、8020をめざし家族ぐるみで取り組みましょう。

出場者 〈敬称略〉

- 高齢者の部
1位 清田恒雄 80歳（栗山4）
伊藤 實 90歳（小田部）

図 平成18年度3歳児健診むし歯保有率



○親と子の部

- 【子】
小川すみ 81歳（遠山）
（栗山南部1-4）

【親】

- 1位 坂本聖夏・まり子（東町3）
本橋育士・裕美（桑郷）
井上利緒・恵美（両国新田）
池野弘樹・京子（古屋）
高橋 樹・泉（栗山新生会）

「高齢者の部」は80歳以上で自分の歯が20本以上ある方「親子の部」は平成19年度3歳児健診で歯や噛み合わせなどの状態が良かった幼児とその親です。